

授業科目	生活の中の環境学				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10406J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	末寄 雅美							
授業概要	<p>この授業では、身近な生活とそれを取り巻く環境について、様々な実践活動から多角的に学びます。特に自然環境について、私たちの日常生活が環境にどのような影響を与えているのか、衣食住を取り巻く環境、生物の生態の実態や環境問題から具体的に学びます。</p> <p>将来保育者となる皆さんが、保育環境としての知見を深めるだけでなく、自然の楽しみ方を知り、自然保護への関心を高めることを期待しています。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 日常生活と身近な自然との関わりについて、知識を持ち関心を深める。</li> <li>* 北九州市の自然環境について、知見を深め、保育に役立てようとする。</li> <li>* 自然を保護しようとする態度を身につけ、日常生活を改善できるようになる。</li> <li>* 自然体験学習などの楽しさを知り、その楽しさを幼児に伝えることができる。</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	0	20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			60		20	20	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 日常生活と身近な自然との関わりについて、知識を持ち関心を深める。</li> <li>→生活と自然の関わりを日常的に意識し、自ら学びを深める意欲を持つ。</li> <li>* 北九州市の自然環境について、知見を深め、保育に役立てようとする。</li> <li>→地域での様々な取り組みに自ら参加し、実際に経験した上で保育の題材として取り入れることができる。</li> <li>* 自然を保護しようとする態度を身につけ、日常生活を改善できるようになる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 日常生活と身近な自然との関わりについて、知識を持ち関心を深める。</li> <li>→生活と自然の関わりを日常的に意識できるようになる。</li> <li>* 北九州市の自然環境について、知見を深め、保育に役立てようとする。</li> <li>→地域での様々な取り組みに関心を持ち、実際に見たり聞いたりしようとする。</li> <li>* 自然を保護しようとする態度を身につけ、日常生活を改善できるようになる。</li> <li>→衣食住に関わる生活習慣を見直し、持続可能な生活について考えようとする。</li> </ul>				

→衣食住に関わる生活習慣を見直し、持続可能な生活を自ら始めることができる。 * 自然体験学習などの楽しさを知り、その楽しさを幼児に伝えることができる。 →実際の保育の場面で継続的に実施できるようになる。		* 自然体験学習などの楽しさを知り、その楽しさを幼児に伝えることができる。 →実際の保育の場面で活用できるようになる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	授業についての説明、生活と環境について 授業のねらいを理解し、生活と環境(特に自然環境)についての関心を高める話を行う	講義	復習として、一年次の「保育内容「環境」」の資料を読んでおくこと 次回への予習として、自身の幼少期の自然体験についてまとめておく	30
2	地域の自然環境について 自然環境を守ることは	講義	授業内での話をまとめておく 次回への準備を行う	30
3	北九州の生活と環境 エコロジー活動と北九州の街の発展	講義	話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
4	人間の日常生活と水生生物の環境 (現場視察) 学外における体験学習	講義・演習	水生生物について調べる 次回への準備を行う	30
5	北九州市の自然環境を用いた保育実践について	講義	予習として、北九州市の自然体験学習(幼児向け)の環境について調べておくこと	30
6	食生活と自然①自然の恵みをいただくこととは	講義	話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
7	食生活と自然②生活の知恵と保存食	講義	話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
8	フードロス、フードドライブとは	講義	話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
9	保育における食育と環境学習	講義	予習としてこれまでの実習で見てきた食育活動についてまとめておく	30
10	自然観察の学習の方法について①感性を開く ※屋外での授業を行います	講義・演習	屋外活動に必要なことや物品を準備する	30
11	自然観察の学習の方法について②観察から理解へ ※屋外での授業を行います	講義	事後レポート作成	30
12	「観察」から学べることは	講義	予習として、第10回・第11回の授業で学んだことをまとめてレポートを作成しておく	30
13	身近な自然と「衣・食・住」(1)	講義	話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
14	身近な自然と「衣・食・住」(2)	講義	事後レポート作成	30
15	授業のまとめー生活と環境の関係とは	講義	まとめレポートの作成	120
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「保育内容「環境」」で学んだことを活かし、さらに応用・発展できる力を身につけてください。			
テキスト	特になし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	NPO 魚部が発刊する雑誌「ぎよぶる」 福岡県立北九州高校魚部編「紫川大図鑑」、「北九州の干潟ブック」、「響灘ビオトープの水辺の生きもの」など 以上の参考図書については、直接担当者に聞いて下さい			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この授業回へは興味深く、意欲的に授業へ参加する態度を求めます。 また、自分の日常生活を振り返りながら学ぶ姿勢を持って下さい。 講義中に屋外や学外で体験学習を行う回もあります。体験学習がある場合は前もってお知らせしますので、服装など注意して下さい。			
達成度評価に関するコメント	「その他」の評価項目 20%では、授業への積極的な参加態度を評価します。毎回の授業を楽しむ姿勢を見せて下さい。			

